

SSR II・B「ディベート（1）」～ディベートとは?～



1 ディベートとは?

「ディベート」と聞いて何を思い浮かべるだろうか。

→『話し合い?』『言いたいことをお互いに言い合うこと?』

《ディベートの定義》

ある特定のテーマの是非について、2グループの話し手が、賛成・反対の立場に別れて、ジャッジを説得する形で議論を行うことであるとされる。

例えば、「日本は高速道路の建設をやめるべきだ」というテーマであれば、賛成派は、建設をやめることによってどんなメリットがあるのかを訴え、逆に反対派はそれによってどんなデメリットが生じるのかを訴える。アメリカの大統領選における候補者の公開討論や、裁判での検察側と弁護側の応酬はこの典型的な例と言える。

2 ディベートで身につけてもらいたい力

- 客観的・批判的・多角的な視点をもつ
- 論理だった思考を行う
- 情報収集・整理・処理能力を身につける
- 自分の考えを論理的に、人前で説明・主張する力をもつ

3 授業におけるディベート

授業では、ジャッジが勝敗を決めるゲーム形式のディベートを行います。公平を期すため、テーマ、肯定側・否定側をランダムに割り振ります。話す順番・制限時間も定め、原則として一人の人が話している間は、他の人が発言することはできない等のルールにします。また、自分がテーマに対して割り振られた側と違った考えを持っていたとしても、いったん脇に置いて、ゲームに勝つために全力を尽くしてください。

《勝つためのポイント》

- ・理由・筋道をはっきりさせて、自分たちの主張をする。
- ・論文や文献を調べ、主張の補強をする。
- ・グループ内で、よく意見交換し、主張に一貫性を持たせる。
- ・対戦相手の主張をよく聞き、議論がかみ合うように注意する。

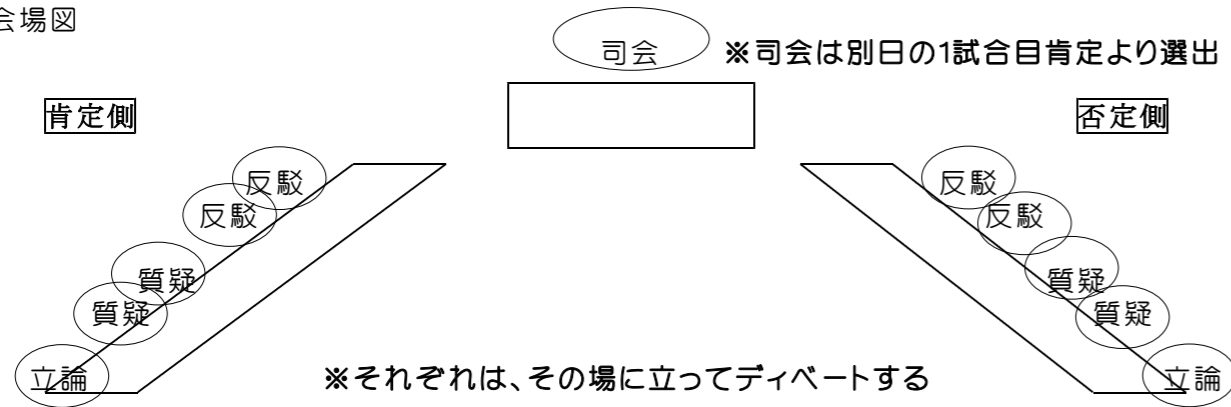
4 ルール

- ① **対戦相手を言い負かすことが目的ではなく、ジャッジを説得することが目的**である。
- ② 決められた時間は、厳守すること。
- ③ 各ターン(後で説明)基本一人で話すこと。
- ④ 主張には根拠が必要。また、論拠となる資料は、第三者が入手可能なこと(具体的には、公刊された出版物。選手が独自に調査したものや、時間とともに入手できなくなるものは「×」)
- ⑤ 論拠資料を引用するときは、**著者名・著者の肩書き・文献名・発行年月日を述べる**こと。、原文のまま引用すること。
- ⑥ 相手の議論を意図的に曲解するなどの非礼な行為は、厳に慎むこと。
- ⑦ 【反駁】では、新しい議論を持ち出してはならない。(論点と論拠は【立論】の中で出し尽くすこと)。
- ⑧ 主体(政府など)が、プランを本当に実行するかどうかを証明する必要はない。
- ⑨ 質疑応答の内容は、次の【反駁】に反映させること。
- ⑩ メリット・デメリットには、それが発生する過程と、その重要性を述べること。

5 ディベートの流れ

《肯定側》	《否定側》
①肯定側 立論(4分) どのようにテーマを実行するか、具体的な プランを説明 する。次に、そのプランを実行した場合にどのような メリットが発生するか説明 する。	※質疑を考えながら聞く、メモを取る。
準備時間(1分)	
※質問にははっきりと答える。しかし、反論してはならない。	②否定側 質疑(2分) 肯定側の立論をよく 理解するために 、否定側が質問する。ここで、 反論してはならない 。
※質疑を考えながら聞く、メモを取る。	③否定側 立論(4分) 肯定側立論で示されたプランを実行すると、どのような デメリットが発生するかを説明 し、現状を変える必要がないことを訴える。
準備時間(1分)	
④肯定側 質疑(2分) 否定側の立論をよく 理解するために 、肯定側が質問する。ここで、 反論してはならない 。	※質問にははっきりと答える。しかし、反論してはならない。
※反駁に対する反駁を考えながら聞く、メモを取る。	⑤否定側 第一反駁(2分) 肯定側立論に 反駁 する。肯定側の主張がなぜ誤りなのか、その根拠を明確にする。その際、専門機関のデータや専門家の意見があると良い。
準備時間(1分)	
⑥肯定側 第一反駁(2分) 否定側立論と否定側 第一反駁に反駁 する。肯定側の主張がなぜ誤りなのか、その根拠を明確にする。	※反駁に対する反駁を考えながら聞く、メモを取る。
準備時間(1分)	
※反駁に対する反駁を考えながら聞く、メモを取る。	⑦否定側 第二反駁(2分) 肯定側 第一反駁に対して反駁 する。その後、今までの議論で自分たち 否定側の主張が勝っていることを述べる 。また、反駁し忘れていたことがあれば、反駁しても良い。
準備時間(1分)	
⑧肯定側 第二反駁(2分) 否定側 第二反駁に対して反駁 する。その後、今までの議論で自分たち 肯定側の主張が勝っていることを述べる 。また、反駁し忘れていたことがあれば、反駁しても良い。	
【ジャッジ(見ている人)による判定】	

6 試合会場図



7 今回のテーマと班員・役割分担

○今回のテーマは

肯定 ・ 否定

○班員と役割分担(1人1役※4人の班は、2役可)

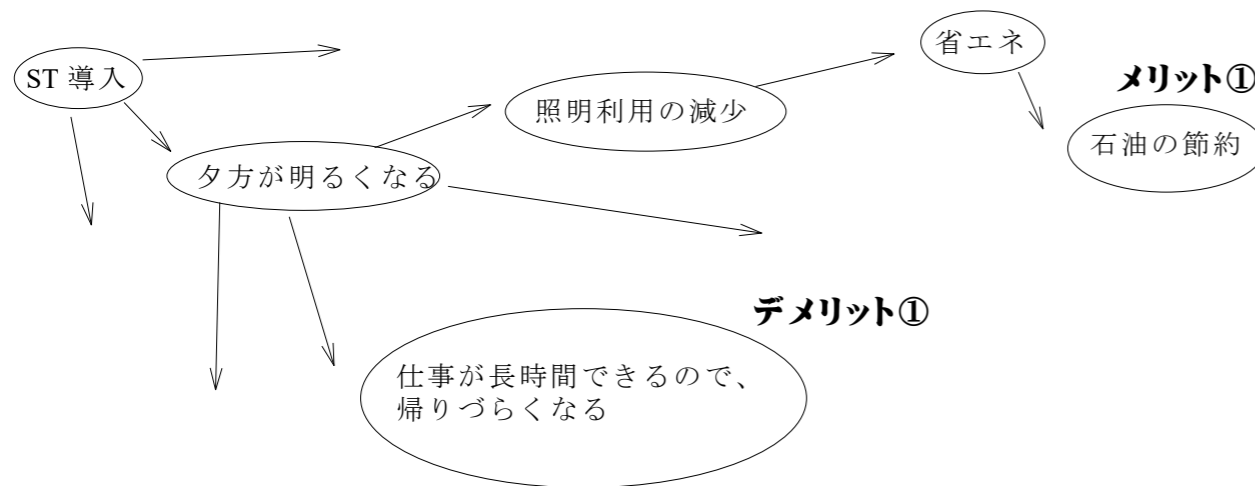
・立論「	」	・質疑「	」
・反駁「	」	・質疑「	」
・反駁「	」		

8 リンクマップ

テーマが決まり班が決まると、早速、情報収集に走りたいところだけど、闇雲に本や資料やネットを見ても効率が悪い。まずは、班内で意見を出したり、百科事典などで知識を増やして、どのようなことが議論されているのか、イメージを膨らませてみんなで共有して、方向性を決めてから、リサーチした方が良さ。その際良く活用されているのが、リンクマップ。例えば、プランが導入されると(今回のテーマが実施されると)どのようなことが起こるのか、色々意見を出し合ってみる。その意見から連想されるメリットは、さらに連想されることは、・・・というようにどんどんイメージを膨らませる。行き詰まった時は、元に戻って別の視点から(今度はデメリットを)考えてみるなど。

例: テーマ:日本はサマータイム(ST)を導入すべきである。是か非か。

①リンクマップ



9 今後の日程(全5回)

- ・第1回 《 月 日() 》
ディベートの説明、テーマ提示、班分け(2テーマ、8班)
- ・第2回 《 月 日() 》
班内分担決め、情報収集①(図書館、PC教室、iPad ※スマホ不可)、活動シート①記入
- ・第3回 《 月 日() 》
情報収集、討論準備②(図書館、PC教室、iPad ※スマホ不可)、活動シート②記入
- ・第4回 《 月 日() 》
情報収集、討論準備、リハ(図書館、PC教室、iPad ※スマホ不可)、活動シート③記入
- ・第5回 《 月 日() 》
ディベート実践①(2テーマ、4班)
- ・第6回 《 月 日() 》
ディベート実践②(2テーマ、4班)

10 実際にリンクマップを作ってみよう!

《調べることリスト》

②調べることをリストアップする

- ・制度について ・なぜそんな制度ができたか ・世論の反応は?
- ・法律はどうなっているのか ・外国はどうなっているか など

※調べる分担も決めておくと、効率上がるかも..